

# アカウミガメが産卵

東条海岸 今シーズン初めて確認

鴨 川

鴨川市の東条海岸で、今シーズン初めてとなるアカウミガメの産卵が確認された。市民からの連絡で、鴨川シーワールドの職員が砂中にある卵を確かめた。順調に発生が進めば、ふ化は約2か月後。シーワールドでは、盗掘などの被害にあわないよう、卵を見守っていく方針。

美しい砂浜が2キ以上続く東条海岸は、毎年6月から8月にかけて、アカウミガメの産卵がみられる。今

季初の産卵は、さる17日、海岸で釣りをしていた市民が、海ガメの上陸跡を見つけてシーワールドに連絡。現場に駆け付けた職員が砂浜を掘り、産み落とされた卵を確認した。

産卵場所には、盗掘防止と保護を呼びかけるための看板を設置したが、河川に近いため、増水によって流失の恐れもあることから「保護も視野に入れて注意深く見守っていきたい」としている。



砂中に確認されたアカウミガメの卵＝鴨川

アカウミガメ 世界中の熱帯から温帯域に分布。日本は主要な産卵場となっており、5月から8月に茨城以南の太平洋の砂浜に上

陸して、80から140個の卵を産む。卵は約2か月でふ化する。ワシントン条約(絶滅の恐れのある野生動物の種の国際取引に

関する条約)で、商業目的の取り引きを禁じている他、国内でも法律や条例で採捕や移動などを規制している。